

# 「夜空を見上げよう（冬バージョン）」シナリオ

宮城県教育研修センター

はクリックをするところ



- 1 晴れた日に冬の夜空を見上げてみましょう。  
冬の夜空には、どんな星や星座が見られるでしょうか。  
また、星座には、どんな物語があるのでしょうか。  
みなさんと一緒に星の世界をのぞいてみましょう。



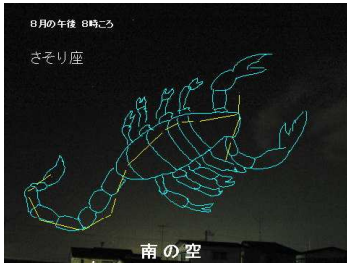
- 2 これは冬の南の空の写真です。（撮影地は蔵王町）

真ん中に見える星座を拡大してみます。

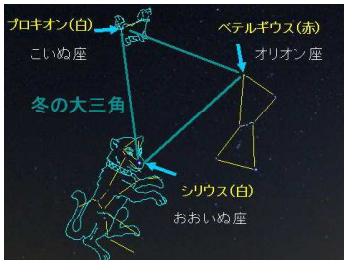


- 3 星が3つ並んで、そのまわりに4つの星が見えます。  
線で結ぶとこうなります。  
昔の人は、星の集まりをいろいろな形に見立てて名前をつけ、  
これを「星座」といいました。  
絵をかいてみましょう。 何に見えますか。  
この星座は「オリオン座」といいます。  
オリオンは、ギリシャ神話（今から3000年ぐらい前に作られた  
物語）の中では、海の神ポセイドンの子どもです。  
海を上を歩くことができ、腕のよい狩人だったといわれています。  
オリオン座の左上に赤い星があり、  
この星は「ベテルギウス」といいます。  
非常に明るい星で、「1等星」です。

オリオンと関係のある夏の星座を一つ見てみましょう。

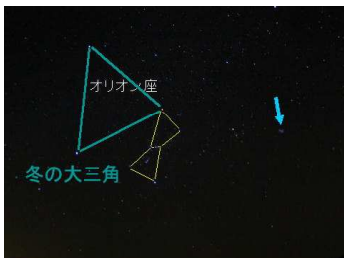


- 4 夏の南の空です。  
 これは何の星座だったでしょうか（4年上巻「夏の星」）、「さそり座」です。  
 オリオンは大きそりに刺されて死んで星座になったと言われ、オリオンは星座になってからもさそりをこわがり、さそり座が西に沈んでから東の空からのぼってきます。



- 5 冬の空にもどりましょう。  
 オリオン座がここにあります。  
 この赤い星は「ベテルギウス」です。  
 オリオン座の左下に白くて非常に明るい星があります。「シリウス」といいます。  
 シリウスは星座を作る星の中で一番明るい星です（マイナス1.44等星）。ギリシャ語の「焼きこがすもの」という意味で、日本では「青星（あおぼし）」とも呼ばれています。  
 線で結ぶと 何に見えますか。「おおいぬ座」といいます。  
 「シリウス」の上の方に白くて明るい星が見えます。「プロキオン」といいます。線で結ぶと小さな犬で「こいぬ座」といいます。  
 この「ベテルギウス」と「シリウス」と「プロキオン」の3つの星を結んでみましょう。  
 この三角形を「冬の大三角」といいます。  
 「夏の大三角」っていうのもありましたね。

【参考】 夏の大三角は、「ベガ」（こと座）、「アルタイル」（わし座）、「デネブ」（はくちょう座）です。



- 6 「オリオン座」はどこにありますか。  
 「冬の大三角」はどこにありますか。  
 「オリオン座の」右の方に青白い星がたくさん集まっているところが見えます。大きくしてみましょう。



- 7 星がたくさん集まっているものを星団といい、この星団は「プレアデス星団」と呼ばれています。日本では「すばる」とも呼ばれています。



- 8 もうひとつ星座を紹介します。「オリオン座」はどこにありますか。ここですね。ここにあるのが「プレアデス星団」です。ここあたりを線で結んでみます。何に見えますか。角のはえたオスの牛で、「おうし(牡牛)座」といいます。「プレアデス星団」は「おうし座」にあります。



- 9 南の空をもう一度見てみましょう。どんな星座があったかもう一度みてみましょう。「オリオン座」「おおいぬ座」「こいぬ座」「おうし座」「冬の大きな三角」はどこにありますか。冬の空にはたくさんの星座がありますね。



- 10 晴れた冬の夜には、おうちの人とゆっくりと星空をながめてみましょう。(おしまい)